

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

北海道白老町に 2020 OPEN!

令和 2 年 1 月 2 2 日

「手づくり郷土賞」認定証伝達式を帯広市で開催します

～「帯広まちなか歩行者天国実行委員会」が一般部門を受賞～

令和元年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」（国土交通大臣表彰）の認定証伝達式を以下のとおり、帯広市において開催します。

伝達式では、北海道開発局長から受賞団体（帯広まちなか歩行者天国実行委員会）に認定証及び副賞の楯をお渡しします。（式次第は「別添 1」参照）

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を「手づくり郷土（ふるさと）賞」（別紙「参考資料」参照）として表彰しています。

令和元年度は全国各地から応募のあった 45 件（一般部門 38 件、大賞部門 7 件）の中から、優れた取組として 24 件（一般部門 20 件、大賞部門 4 件）が選定され、一般部門で「帯広まちなか歩行者天国実行委員会」が選定されました。（活動の詳細は「別添 2」参照）

【認定証伝達式】

受賞件名：帯広まちなか歩行者天国

～市民がつくり・市民が楽しみ・市民が支えるオビヒロホコテン～

受賞団体：帯広まちなか歩行者天国実行委員会（帯広市）

日 時：令和 2 年 1 月 31 日（金） 13：40～

場 所：帯広第 2 地方合同庁舎 3 階共用 2・3 会議室（帯広市西 5 条南 8 丁目）

※伝達式（認定証伝達・副賞贈呈）は公開で行います。取材を希望される方は、「別添 3」の申込書により 1 月 29 日（水）12 時までにお申込み願います。

※取材される場合は、伝達式開始時間の 5 分前（13：35）までに会場にお越しください。

※記念撮影終了後に、受賞団体との取材時間をご用意します。

※別途、函館市でも認定証伝達式を予定しております。詳細が決まり次第、お知らせします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 課長補佐 新妻 憲嗣（内線 5475）

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 木村 康一（内線 5470）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和元年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」認定証伝達式

受賞件名 帯広まちなか歩行者天国
～市民がつくり・市民が楽しみ・市民が支えるオビヒロホコテン～

受賞団体 帯広まちなか歩行者天国実行委員会

日 時 : 令和2年1月31日(金) 13:40～14:00
場 所 : 帯広第2地方合同庁舎 3階共用2・3会議室
(帯広市西5条南8丁目)

1. 開 式
2. 認定証伝達・副賞贈呈 (北海道開発局長)
3. 挨拶 (北海道開発局長)
4. 祝 辞 (帯広市長)
5. 閉 式
6. 記念撮影

帯広まちなか歩行者天国実行委員会

①社会資本の概要

北海道十勝の中心都市である帯広市は、豊かな自然環境と快適な都市機能が共生する「田園都市」です。その中心市街地には、JR帯広駅やバスターミナルといった交通拠点、百貨店をはじめ各種専門店や飲食店が集積した商店街、公共施設、事業所、官公庁など様々な都市機能が集積しています。特に平原通（道道26号）と



平原通（道道26号）

アーケードのある広小路（市道）が交差する通りは街の中心の象徴的なエリアです。

実行委員会では、この一帯約420mの道路空間を活用し、6月から9月までの毎週日曜日に歩行者天国（オビヒロホコテン）を開催しています。



アーケード（広小路）

②取組の背景、取組概要と創意・工夫

帯広市では、市街地が拡大した一方、中心市街地は空洞化・衰退化が急速に進んできました。こうした状況に危機感を持った市民有志が、中心市街地に賑わいを取り戻そうと「帯広まちなか歩行者天国実行委員会」を設立し平成18年にオビヒロホコテンがスタートしました。開催から14年目の現在でもボランティア主体で運営しており、低予算での継続的な活動を

可能にしています。また、イベントに参加するグループを年齢・立場を問わず市民から応募することで多様なコンテンツが集まり、世代を問わず楽しめます。さらに、団体や学校を除き、個店での飲食出店を行わないことで、来場者が周辺飲食店へ回遊することを狙っています。



市民から集まる多様なコンテンツ



来場者が自由に参加できるイベントも



ボランティアや参加者が協力しながら設営・撤収

③活動の成果や波及効果等

現在、オビヒロホコテンは、中心市街地で夏の間毎週行われるイベントとして市民の皆さんに広く親しまれています。

シーズン合計のべ200以上の参加グループ、のべ約400名の運営ボランティアが参加し、10万人以上が来場するようになりました。

開催日の歩行者通行量は開催以前に比べて1.5倍から3倍にまで回復し、近隣店舗の売上増など地域の経済効果にも寄与しています。また、これまでまちなかを訪れることの少なかった若い世代もこのイベントをきっかけに足を運ぶことで、中心市街地における賑わいの創出と地域活性化に寄与しています。



幅広い年代が参加・来場



高校の学校祭イベント



参加者と来場者の交流



家族連れも多く訪れる

喜びの声



<受賞者>
帯広まちなか歩行者天国実行委員会
実行委員長 細川 吉博

<コメント>

この度の受賞、心から感謝申し上げます。14年の実績をご評価頂いたと思いますが、ここには多くのメンバーの知恵と労を惜しまない行動力がありました。そして何より、市民を始め多くの方々のご参加があってこそだと理解しています。改めまして皆様へ感謝申し上げます。

当初有志によって始められたイベントが今や夏の一大イベントに発展しました。これからも末永く当事業が市民の手づくりにて続きますように肝に命じて参ります。ご支援の程宜しくお願い致します。

<活動内容>
歩行者天国の企画～開催～運営

<活動の経緯>
平成18年
まちなか歩行者天国大作戦
プロジェクト開催
平成18年
帯広まちなか歩行者天国実行委員会
(活動開始)
第1回歩行者天国開催
以後、毎年活動を継続中

- ◆所在地
北海道帯広市西1条南8丁目20
- ◆活動主体及び連絡先
帯広まちなか歩行者天国実行委員会
(0155-23-4510)
- ◆対象となる社会資本
北海道道26号帯広停車場線 南8丁目・南9丁目
／帯広市道南8丁目線 西2条・西1条の一部
※管理者：北海道 十勝総合振興局 建設管理部
帯広市 都市建設部



北海道開発局 開発調整課 宛 (FAX 011-709-9215)

申込書（報道関係者）

令和元年度 手づくり郷土賞認定証伝達式

日 時：令和2年1月31日（金）13：40～

場 所：帯広第2地方合同庁舎 3階共用2・3会議室

受賞件名：帯広まちなか歩行者天国

～市民がつくり・市民が楽しみ・市民が支えるオビヒロホコテン～

受賞団体：帯広まちなか歩行者天国実行委員会

氏 名

住 所

所属（会社名等）

連 絡 先

※ご提供いただいた個人情報は、令和元年度手づくり郷土賞認定証伝達式に関する連絡以外では使用しません。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和元年度で34回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和元年度）

委員長	鈴木 伸治	横浜市立大学国際教養学部 教授
委員	秋田 典子	千葉大学大学院園芸学研究科 准教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー ／一般財団法人コレゾ財団 代表理事
委員	福井 恒明	法政大学デザイン工学部 教授 (敬称略)